



2022年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月25日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニイタカ
 コード番号 4465 URL <https://www.niitaka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥山 吉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 貴志 TEL 06 (6391) 3266
 四半期報告書提出予定日 2022年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第3四半期の連結業績 (2021年6月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第3四半期	13,158	△6.7	1,446	△31.2	1,489	△29.2	1,029	△30.1
2021年5月期第3四半期	14,102	3.9	2,102	64.5	2,103	61.0	1,472	54.6

(注) 包括利益 2022年5月期第3四半期 1,115百万円 (△30.1%) 2021年5月期第3四半期 1,596百万円 (73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第3四半期	174.31	—
2021年5月期第3四半期	249.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第3四半期	20,567	12,248	59.6
2021年5月期	20,468	11,292	55.2

(参考) 自己資本 2022年5月期第3四半期 12,248百万円 2021年5月期 11,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2022年5月期	—	14.00	—	—	—
2022年5月期 (予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年5月期の連結業績予想 (2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	△4.5	1,600	△34.7	1,630	△33.9	1,100	57.8	186.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期3Q	5,943,052株	2021年5月期	5,943,052株
② 期末自己株式数	2022年5月期3Q	39,592株	2021年5月期	39,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期3Q	5,903,532株	2021年5月期3Q	5,903,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が制限されるなか、ワクチン接種促進を受け、経済活動の持ち直しの動きがありました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染再拡大、供給面での制約、原材料価格の動向により景気下振れリスクがあるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要顧客である飲食店や宿泊施設は、酒類提供制限、営業時間短縮等により、再び客数が減少するなど大変厳しい環境となりました。

当社グループは、引き続き感染予防の組織的取り組みを実施しつつ、売上確保に努めてまいりました。飲食店や宿泊施設向けの洗剤洗浄剤及び固形燃料等においては、感染対策用洗浄剤を中心に販売活動を積極的に推進し、売上は増加いたしました。

アルコール製剤は、新型コロナウイルス感染症流行により急速に拡大した需要の反動があり、売上は減少いたしました。新規チャネル開拓がより一層進み、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びを維持しました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、131億5千8百万円（前年同四半期比 6.7%減）となりました。

利益につきましては、営業利益は、14億4千6百万円（同 31.2%減）、経常利益は、14億8千9百万円（同 29.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億2千9百万円（同 30.1%減）となりました。

当社グループは、業務用の化成事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の情報はありません。当社グループ製造品及び仕入商品等の売上高は、次のとおりであります。

<当社グループ製造品>（業務用洗剤・洗浄剤・除菌剤・漂白剤・固形燃料等）

アルコール製剤は、新型コロナウイルス感染症流行により急速に拡大した需要の反動があり売上は減少いたしました。官公庁やレジャー施設などへの新規チャネル開拓が進み、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びを維持しました。

飲食店や宿泊施設向けの洗剤洗浄剤及び固形燃料等においては、2021年10月より緊急事態宣言が解除され、一時的に需要回復傾向にありましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大によるまん延防止等重点措置により経済活動が制限され、需要が低迷いたしました。しかしながら、感染対策用洗浄剤を中心に顧客のニーズに沿った製品・サービスの提案を行った結果、売上は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ製造品売上高は、105億5千3百万円（前年同四半期比 8.3%減）となりました。

<仕入商品等>

当第3四半期連結累計期間の売上高は、26億4百万円（同 0.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は前連結会計年度末と比較して9千9百万円増加し、205億6千7百万円となりました。主には、「受取手形及び売掛金」が1億9千6百万円増加し、「建物及び構築物（純額）」が1億2千1百万円減少しました。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比較して8億5千6百万円減少し、83億1千8百万円となりました。主には、流動負債「その他」が5億4千4百万円、「長期借入金」が5億8千6百万円それぞれ減少しました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末と比較して9億5千5百万円増加し、122億4千8百万円となりました。主には、親会社株主に帰属する四半期純利益10億2千9百万円による増加と、配当金の支払1億5千9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年7月14日公表の通期の業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753,847	5,785,110
受取手形及び売掛金	3,629,457	3,825,842
商品及び製品	943,584	977,802
仕掛品	28,651	36,827
原材料及び貯蔵品	537,031	564,111
その他	60,016	99,543
貸倒引当金	△4,033	△4,033
流動資産合計	10,948,553	11,285,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,383,834	3,261,968
土地	3,016,850	2,996,507
その他(純額)	1,223,575	1,159,183
有形固定資産合計	7,624,259	7,417,659
無形固定資産		
その他	360,800	281,667
無形固定資産合計	360,800	281,667
投資その他の資産		
その他	1,639,373	1,670,134
貸倒引当金	△104,743	△87,203
投資その他の資産合計	1,534,629	1,582,930
固定資産合計	9,519,689	9,282,257
資産合計	20,468,243	20,567,462
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	742,827	947,725
電子記録債務	1,394,229	1,658,819
短期借入金	625,280	742,437
未払法人税等	493,280	153,346
その他	1,346,450	801,597
流動負債合計	4,602,068	4,303,926
固定負債		
長期借入金	3,057,300	2,471,183
退職給付に係る負債	1,371,424	1,402,176
その他	144,504	141,356
固定負債合計	4,573,229	4,014,715
負債合計	9,175,297	8,318,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,199	585,199
資本剰余金	595,337	595,337
利益剰余金	10,013,277	10,882,922
自己株式	△50,953	△51,201
株主資本合計	11,142,861	12,012,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,847	67,856
為替換算調整勘定	72,237	168,705
その他の包括利益累計額合計	150,085	236,562
純資産合計	11,292,946	12,248,820
負債純資産合計	20,468,243	20,567,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
売上高	14,102,785	13,158,274
売上原価	7,756,015	7,644,542
売上総利益	6,346,769	5,513,732
販売費及び一般管理費	4,244,208	4,067,440
営業利益	2,102,561	1,446,292
営業外収益		
受取利息	8,699	6,777
受取配当金	7,577	8,040
受取賃貸料	31,876	33,808
貸倒引当金戻入額	-	18,645
その他	17,255	12,946
営業外収益合計	65,409	80,217
営業外費用		
支払利息	9,448	8,001
賃貸収入原価	18,617	21,340
売電原価	4,572	4,507
為替差損	11,106	3,057
貸倒引当金繰入額	20,791	-
その他	0	4
営業外費用合計	64,536	36,911
経常利益	2,103,433	1,489,597
特別利益		
受取保険金	1,788	-
固定資産売却益	-	8,847
特別利益合計	1,788	8,847
特別損失		
投資有価証券売却損	3,412	-
固定資産除売却損	569	-
特別損失合計	3,982	-
税金等調整前四半期純利益	2,101,239	1,498,444
法人税等	628,334	469,404
四半期純利益	1,472,904	1,029,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,472,904	1,029,040

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	1,472,904	1,029,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,378	△9,990
為替換算調整勘定	83,316	96,468
その他の包括利益合計	123,694	86,477
四半期包括利益	1,596,599	1,115,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,596,599	1,115,517
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、国内の商品又は製品の販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上総利益は120百万円減少し、販売費及び一般管理費は120百万円減少しました。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。